

平成21年春季講演会 講演プログラム

日 時：2009年5月28日（木），29日（金）

場 所：神戸市産業振興センター

5月28日（木）

○講演者

時 間

表 題

著 者

【第2会場】

9:00～10:10 オーガナイズドセッション（OS2）：海洋環境関連技術の現状と展望

オーガナイザー：多部田 茂

海洋波浪観測機器としてのマイクロ波ドップラーレーダ
海洋利用の環境影響予測シミュレーション技術
包括的環境影響評価指標Triple Iとその海洋技術への適用
海洋開発にかかる合意形成の諸課題

○林 昌奎
○多部田茂，北澤大輔，佐藤 徹
○大塚耕司
○福島朋彦

10:20～11:20 一般講演：地球環境・保全

10:20～10:40 船舶排ガスの陸域への寄与度の評価について

○高山敦好，西田修身，藤田浩嗣，
原野 亘，西川嘉晃

10:40～11:00 CO2海洋隔離におけるCO2放出法改善による環境影響予測

飯田泰樹，○佐藤 徹，Jeong Se-min，
平林紳一郎

11:00～11:20 栄養塩連続計測器を用いた海域環境モニタリング

中谷直樹，○新井 励，多田康司，
大塚耕司

15:00～17:00 オーガナイズドセッション（OS7）：船舶のルーティング及びスケジューリング問題について

オーガナイザー：加納敏幸

運航支援システム”Sea-Navi®”の開発

○吉田尚史，折原秀夫，森川正夫，
山崎啓市，松本光一郎

内航船の環境調和型運航支援システムに関する研究開発について

○加納敏幸

配船計画への制約プログラミングの適用

○坂口 隆，小林 充，加納敏幸

数理計画を用いたセメント船団の船舶スケジューリング

○瀬田剛広，坂口 隆，小林 充，
加納敏幸

内航船のための気象・海象予測

○窪田和彦，松藤絵理子，松浦邦明，
上原謙太郎，三嶋宣明

方向波スペクトルを用いた波浪中抵抗増加の推定について

○菅 信，加納敏幸，小林 充，
山崎英津子

内航商船に対する最適運航計画について

○高嶋恭子

航海計画支援システムの実船試験と評価

○小林 充，加納敏幸，高嶋恭子

【第3会場】

9:00～11:20 一般講演：次世代船

9:00～9:20 装飾古墳に描かれた舟の図像についての技術史的論考(続)

○新開明二，山口 悟

9:20～9:40 次世代型商船の開発に関する研究（1）－強風下における最新型PCCの抵抗増加に関する研究－

○桃木 勉，藤原英雄，片山 徹，
池田良穂

9:40～10:00 次世代型商船の開発に関する研究（2）－複数の平板翼を搭載した帆装商船の可能性について－

桃木 勉，○大西星輝，池田良穂

10:00～10:20 次世代型商船の開発に関する研究（3）－大型商船への太陽光発電設備導入の検討－

長野真二郎，○桃木 勉，池田良穂

10:20～10:40 瘦せ型幅広の新船型を採用した次世代型PCCの可能性に関する研究

○西澤浩司，田井祥史，池田良穂，
二瓶泰範

10:40～11:00 中速トリマラン型次世代PCCの開発

○小浦拓也，二瓶泰範，池田良穂

11:00～11:20 瀬戸内海用両頭型クルーズ客船の開発と性能分析

○辰巳貴俊，池田良穂，二瓶泰範

15:00～16:20 一般講演：抵抗低減

15:00～15:20 流路縮小による気泡微細化と摩擦抵抗低減効果

○加藤洋治，藤下俊一，片寄 裕

15:20～15:40 気泡吹き出しによる抵抗低減の予測のための新しい数値モデル

○村上麻子，川村隆文

15:40 ~ 16:00	流体抵抗を低減する水中ピークルの表面微細構造	○山本郁夫, 中村友一, 稲川直裕, 渡辺健一, 日高 大, 増田雅絵
16:00 ~ 16:20	平行平板曳航法による平板抵抗の計測 (その2) - 租度・段差影響の評価 -	○川島英幹, 堀 利文, 牧野雅彦, 竹子春弥

【第4会場】

9:00 ~ 11:00 一般講演：実海域性能 I		
9:00 ~ 9:20	パラスト状態での波浪中抵抗増加の推定	○柴田和也, 辻本 勝, 高木 健
9:20 ~ 9:40	肥大船の斜波中における抵抗増加について	○粉原直人, 辻本 勝, 沢田博史, 塚田吉昭, 高木 健
9:40 ~ 10:00	波浪中抵抗増加に対する前進速度影響とその補正に関する研究	柏木 正, ○笹川拓真, 池田剛大
10:00 ~ 10:20	コンテナ船の風圧力に関する積み付け影響推定	○藤原敏文, 塚田吉昭, 北村文俊, 沢田博史, 大松重雄
10:20 ~ 10:40	実海域における風影響評価に関する検討	○藤原敏文, 佐々木紀幸
10:40 ~ 11:00	Dynamics of diesel engine in the framework of ship propulsion plant	○Oleksiy Bondarenko, Masashi Kashiwagi, Shigeru Naito
11:20 ~ 12:00 一般講演：ITTC関連報告		
11:20 ~ 11:40	第25期ITTC (国際試験水槽委員会) の活動成果	○木下 健, 戸田保幸, 柏木 正, 児玉良明, 伊東章雄, 土岐直二
11:40 ~ 12:00	ITTC2008総会と第26期ITTCの技術委員会の活動について	○木下 健, 戸田 保幸, 柏木 正, 児玉良明, 伊東章雄, 土岐直二
15:00 ~ 17:00 一般講演：安全・復原性能		
15:00 ~ 15:20	損傷客船の帰港時における船長へのガイダンスに関する一提案(第3報)	○杉原拓匡, 池田良穂
15:20 ~ 15:40	横波横風中の船舶の非損傷時復原性評価法について	梅田直哉, ○井澤 賢, 前田恵理
15:40 ~ 16:00	ブローチングに係わる復原性評価について	梅田直哉, ○佐野裕之, 牧 敦生
16:00 ~ 16:20	横波中パラメトリック横揺れの発生予測	○小林昇平, 二瓶泰範, 池田良穂
16:20 ~ 16:40	規則波中パラメトリック横揺れの定量的数値予測に関する研究	○橋本博公, 山谷 悠
16:40 ~ 17:00	パラメトリック横揺れ防止用アンチローリングタンクの形状影響評価	橋本博公, 末吉 誠, ○杉本友宏

【第5会場】

9:00 ~ 11:20 一般講演：材料・構造解析		
9:00 ~ 9:20	有限要素法を用いたバルクキャリアのホールドフレームの構造信頼性評価	○川村恭己, 高橋基尚, 山根征晃, 角 洋一
9:20 ~ 9:40	個別要素法と有限要素法を適用した鈦石と船体構造の連成解析	○敷根宏章, 前田正広, 吉川孝男
9:40 ~ 10:00	腐食防撓板の座屈・最終強度 (第1報 shell-solid coupling法を用いた有限要素解析)	○穴井陽祐, 田中義照, 佐久間正明, 安藤孝弘
10:00 ~ 10:20	グラフ理論を用いた薄肉断面構造の剪断流解析法に関する研究 (第1報) - 解析法 -	野瀬幹夫, ○野崎慎一郎
10:20 ~ 10:40	水平曲げ・捩れ荷重を受ける船体梁の捩り強度解析法の新しい実用化に関する研究	野瀬幹夫, ○河野泰典, 野崎慎一郎
10:40 ~ 11:00	大規模FEMモデルを用いた損傷時縦曲げ最終強度に関する研究	○石橋公也, 原田 実
11:00 ~ 11:20	鋼製中空球の圧縮強度	○渡辺喜保, 吉田宏一郎
15:00 ~ 16:40 一般講演：き裂伝播解析		
15:00 ~ 15:20	き裂結合力モデルを用いた埋没き裂のき裂開口変位推定について	○永田幸伸, 後藤浩二
15:20 ~ 15:40	船体構造部材に発生するき裂の三次元破壊力学解析	○田中智行, 安 瑋, 岡田 裕, 岡澤重信
15:40 ~ 16:00	長大脆性き裂伝播停止挙動に及ぼす荷重負荷点間距離の影響	○半田恒久, 久保高宏, 西村公宏, 潮海弘資
16:00 ~ 16:20	加工硬化特性を考慮した疲労き裂伝播解析手法	後藤浩二, 永田幸伸, ○原田圭輔, 門脇孝爾
16:20 ~ 16:40	船殻用アルミニウム合金A5083の疲労き裂伝播性能に関する基礎検討	後藤浩二, 村上幸治, ○野田康男, 秋月啓治, 瀧本 努

【第6会場】

9:00 ~ 11:20 一般講演：自然・海洋エネルギー		
9:00 ~ 9:20	浮体式波力発電装置 (後ろ曲げダクトブイ) に作用する漂流力に関する研究	○今井康貴, 豊田和隆, 永田修一, 小田純子, 真子祐輔, 白石健二

9:20 ~ 9:40	浮体式海洋構造物の動揺低減装置の流体力特性に関する研究	○今井康貴, 豊田和隆, 永田修一, 小田純子, 大津好清
9:40 ~ 10:00	新型マルチカラム波力発電浮体システムの開発のための基礎的研究	安澤幸隆, ○長島知宏
10:00 ~ 10:20	迎角制御によるダリウス型水車のトルク特性	○藤尾慎太郎, 居駒知樹, 増田光一, 前田久明, 林 昌奎, 白井勇介
10:20 ~ 10:40	浮体式洋上風力発電システムにおけるリスクアセスメントーシステムリスク算定に向けた動揺・傾斜によるリスクの推定ー	○松倉 力, 川村恭己
10:40 ~ 11:00	洋上風力発電ファームの浮体構造物に対するシステムのリスク評価について	○浅 友紀, 川村恭己, 角 洋一, 村井基彦
11:00 ~ 11:20	複合材料を利用した潮流発電用パッシブピッチコントロールブレードの検討	○原 悠介, 鶴沢 潔, 川村隆文, 村山英晶, 南 佳成

15:00 ~ 17:00 **オーガナイズドセッション (OS6) :**
我が国における海洋開発利用の基本戦略ー海洋技術フォーラムからの提言ー
オーガナイザー: 高木 健, 尾崎雅彦

海洋技術フォーラムでは, 我が国が海洋の積極的な開発・利用及び海洋環境の保全との調和を図るために, 「我が国における海洋開発利用の基本戦略」を提言という形で纏めている。OSではこの提言内容についてパネルディスカッション方式で議論する。

【第7会場】

9:00 ~ 11:20	一般講演: 浮体応答	
9:00 ~ 9:20	浮体に働く流体力・波力解析用3次元境界要素計算の効率化	○瀬戸秀幸, 河角省治, 太田 真, 松浦正己
9:20 ~ 9:40	Hamilton-Dirichlet原理を用いたボンツーン型浮体の波浪中弾性応答解析	○新里英幸, 永田修一, 豊田和隆, 島崎克教
9:40 ~ 10:00	N-Sソルバーによるフィン付き箱形浮体の粘性流体力の解析と実験的検証	早河達也, ○宇都宮智昭, 矢後清和, 中條俊樹
10:00 ~ 10:20	局所的剛性変化を伴う浮体構造物の波浪中弾性応答に関する研究	○村井基彦, 中川 宰
10:20 ~ 10:40	MPS法による岸壁近傍に設置された浮体式構造物の津波中挙動予測に関する研究	○増田光弘, 増田光一, 居駒知樹, 前田久明
10:40 ~ 11:00	Development of an Optimal Floating Breakwater by Numerical Computation Method	Masashi Kashiwagi, ○Faisal Mahmuddin
11:00 ~ 11:20	高性能浮き消波堤の開発に関する流体力学的研究	柏木 正, ○高島新一郎

15:00 ~ 17:00 **オーガナイズドセッション (OS4) : 大学による高校生・一般向けの船舶海洋思想の普及活動**
オーガナイザー: 村井基彦

平成20年度より学会の事業として、船舶海洋思想の普及に関する事業実施委員会を設置し、各大学の高校生ならびに一般向け講演会や企画などの取り組みを統一的に支援することを試みている。本OSでは平成20年度の本事業に基づく活動を学会員に広く周知すること、実施大学や担当者間で情報共有を行うことを趣旨とし、効率的で実効性のある船舶海洋思想の普及活動についてディスカッション形式のセッションを行う。

【第8会場】

9:00 ~ 12:00	オーガナイズドセッション (OS1) : 海中システム オーガナイザー: 有馬正和, 加藤直三	
	海洋モデルと結合した複数のSOTABによる重油自動追従シミュレーション	○高木智史, 加藤直三, 千賀英敬, 仁王大樹, 椋本洋平, 藤本勝樹
	無人海中母船型ロボット群システムの検討	○有馬正和, 井上俊文, 奥村寿浩, 小原敬史, 川原慎太郎, 小山寿史, 柴田陽三, 須藤 拓, 中村昌彦, 山内裕文
	力学的相互作用のある群知能水中ロボットシステムの検討	○吉田 弘, 川村貞夫, 山内由章, 照井重美
	浮流重油自動追従ブイ(SOTAB)を用いた実海域試験	○仁王大樹, 加藤直三, 千賀英敬, 吉江宗生, 藤田 勇
	水中ロボット用スラスタの性能とその推定に関する研究	鈴木博善, ○山道 淳, 井上朝哉, 田原淳一郎
	水中ビークルの波浪中ロバスト制御	中島健護, ○加藤直三
	砂上を走行するクローラ型ROVの水中走行特性について	○勝井辰博, 村上尚隆, 井上朝哉, 新堀 貴
	フリッパー式水中クローラの開発および水中走行シミュレーション	○津久井慎吾, 大村誠司, 井上朝哉

ステレオ視による海中探査機用マニピュレータの作業情報
小型AUV「MR-X1」の経路制御

気象モデルWRF、海洋モデルPOMを用いたナホトカ号重油流出事故後の重油追跡シミュレーション
Low-wavenumber forcingによる深海鉛直拡散係数の推定

○石橋正二郎
○中村昌彦, 百留忠洋, 吉田 弘,
青木太郎
○椋本洋平, 加藤直三
○平林紳一郎, 佐藤 徹

15:00 ~ 16:40 一般講演：設計・生産

15:00 ~ 15:20 テキストマイニングによる造船設計・工作における誤りの構造分析に関する研究
15:20 ~ 15:40 駐在監督報告書からの知識獲得手法に関する研究

篠田岳思, ○木村孝司, 田中太氏
大和裕幸, 稗方和夫, ○辻本 翔,
松野二郎

15:40 ~ 16:00 組織構造を考慮したコラボレーション支援システムの研究
16:00 ~ 16:20 造船ラインのMax-Plusスケジューリングに関する研究
16:20 ~ 16:40 カオス解析による造船所歩行路環境の安全評価に関する研究

大和裕幸, 稗方和夫, ○満行泰河
○梶原宏之, 人位康弘, 中尾洋一
○田中太氏, 篠田岳思

5月29日（金）

○講演者

時 間 表 題 著 者

【第2会場】

9:00 ~ 11:20 一般講演：海運・物流 I

9:00 ~ 9:20 マルチエージェントシミュレーションを用いた鉄鉱石海上輸送船団の設計

野澤久徳, ○秋元博路, 武市祥司,
宮田秀明

9:20 ~ 9:40 航行中船舶の種々の評価とその最適化による航路選定に関する基礎研究

水ノ江隆志, ○小林英一

9:40 ~ 10:00 最小抵抗双胴船(MRTH)を適用した海陸一体の交通システムの構築

○塩田浩平

10:00 ~ 10:20 最小抵抗双胴船(MRTH)を適用した近海域コンテナ輸送の超高速化の実現

○塩田浩平

10:20 ~ 10:40 日本発着の国際コンテナ輸送ネットワーク設計とハブ港の選定と評価

滝沢尚士, ○秋元博路, 武市祥司,
宮田秀明

10:40 ~ 11:00 工場間海上輸送シミュレーションにおける遅延リスクの評価

松倉洋史,
○Michelle Buen-Tumilba,
角田浩平, 大和裕幸

11:00 ~ 11:20 海上輸送システムに関する意思決定の確率論的評価

松倉洋史, ○角田浩平,
Michelle Buen Tumilba, 大和裕幸

15:00 ~ 16:20 一般講演：海運・物流 II

15:00 ~ 15:20 GISによる船舶乗揚回避のための水深情報の表示について

○塩谷茂明, 姜 鶴, 小林英一,
若林伸和, 大澤輝夫, 嶋田陽一,
牧野秀成

15:20 ~ 15:40 漁船および大型船の衝突海難データベース構築によるリスク解析に関する研究

○田村由佳, 篠田岳思, 下川和宏

15:40 ~ 16:00 小型船舶の津波対策に関する研究 -係留された複数船舶の運動モデル検討-

斧田康佑, ○小林英一, 越村俊一

16:00 ~ 16:20 輻輳海域における津波来襲時の海上交通流について

○村山雅子, 小林英一, 水ノ江隆志,
近藤英昭, 越村俊一

【第3会場】

9:00 ~ 11:40 一般講演：推進性能

9:00 ~ 9:20 表面効果内における翼のロール状態の流体数値シミュレーション

○金平 誠, 秋元博路

9:20 ~ 9:40 有限体積法を利用した地面効果を受ける三次元矩形翼に関する基礎的研究

○宇田川 隆博, 尾藤 淳, 甲斐 寿,
川村恭己

9:40 ~ 10:00 上に自由表面、下に流れのあるキャビティ内流れの計算

○福田和廣, 吉井佑太郎

10:00 ~ 10:20 局所的に細分化された非構造六面体格子を用いた船体周りの流れ解析における格子依存性

○浦野幸子, 平田信行, 日野孝則

10:20 ~ 10:40 ニューラルネットワークを用いた推進性能の推定 -Ballast状態への適用-

○金井 健

10:40 ~ 11:00 半没水型超高速三胴船の抵抗低減と波浪中運動特性

○野澤和男, 早川 勳

11:00 ~ 11:20 薄い船の理論を用いた高速排水量型船型の波形解析

○土橋純也, 佐久間俊

11:20 ~ 11:40 制約条件下における最適横載面積曲線について

○鈴木啓介, 佐久間俊

15:00 ~ 16:20 一般講演：プロペラ性能

15:00 ~ 15:20 気泡流中を作動するプロペラが誘起する変動圧力

15:20 ~ 15:40 翼端荷重度の異なる船用プロペラに発生する非定常キャビテーションに関する数値シミュレーション

15:40 ~ 16:00 PBCFのハブボルテックス抑制メカニズムについて

16:00 ~ 16:20 逆転時のプロペラ翼応力解析

○日夏宗彦, 右近良孝, 堀 利文, 久米健一, 児玉良明, 川村隆文, 前田正二

○黄 鎮川, 川村隆文, 竹腰善久, 藤井昭彦, 木村校優, 竹谷 正

○安藤智子, 甲斐 寿, 三浦義之

○岡崎全伯, 山崎正三郎

【第4会場】

9:00 ~ 11:40 一般講演：操縦性能

9:00 ~ 9:20 コリオリ式垂直型アンチロールシステムの検証試験

9:20 ~ 9:40 時系列解析による動揺パラメータの直接推定法 - 1自由度モデルによる検証 -

9:40 ~ 10:00 AR操縦モデルに関する基礎的研究

10:00 ~ 10:20 離着岸時における非定常流体力解析法の開発 - 曳行水槽における低速横移動試験法の提案 -

10:20 ~ 10:40 首振り式推進器を備えた船の針路安定性改善

10:40 ~ 11:00 トレーラー式多連結バージシステムの操縦運動に関する実験的研究

11:00 ~ 11:20 漁船船型の操縦性能推定法

11:20 ~ 11:40 「大和」の向かい波中船体運動性能の検証解析

○平川嘉昭, 高山武彦, 船水 繁, 柿添光治, 平山次清

○寺田大介, 北川源四郎

佐藤圭二, ○加納敏幸, 権 麗子

○松田識史, 西尾 茂, 志道敏雄, 高木俊宏

○安川宏紀, 田中 進, 平田法隆

古川芳孝, 池上国広, ○山口堅太郎, 上杉知幸, 茨木 洋, 貴島勝郎

○芳村康男, 増本友美子

○瀬戸秀幸, 木原 一, 伊藤靖名

15:00 ~ 16:20 一般講演：実海域性能 II

15:00 ~ 15:20 シーマージンの簡易推定法

15:20 ~ 15:40 海の10モード指標計算法

15:40 ~ 16:00 意識的操船や経年劣化・汚損等を考慮した短期海象時系列による実海域船舶性能の推

16:00 ~ 16:20 オンボードデータによる運航性能の統計的推定 - Box-Cox変換を利用したオンボードデータのモデル化 -

○佐々木紀幸, 大松重雄

○辻本 勝, 佐々木紀幸, 藤原敏文, 上野道雄, 白井謙彰, 加戸正治, 野村大吉, 高木 健

○箕浦宗彦, 長谷成子, 内藤 林

○古池健太, 箕浦宗彦, 片桐高輔, 西田直毅

【第5会場】

9:00 ~ 11:20 オーガナイズドセッション (OS9) : 塗装品質を考慮した船殻工作のあり方

オーガナイザー：大沢直樹

塗膜性能と船殻工作品質の関係に係る諸問題

実エッジ形状に適応したエッジ膜厚保持率計測方法の開発

不完全R形状のエッジ膜厚保持率に及ぼす形状パラメータの影響

フリーエッジ形状とエッジ膜厚保持率の関係の数値解析

船体構造用型鋼エッジR部の膜厚保持性能について

機能性塗料によるPSPC対応のための塗膜管理技術

Standard for the Preparation of Steel Substrates for PSPC

自動エッジ処理機能付NCプラズマ切断機の開発

○雨宮俊幸, 佐々木高幸, 楠山政一, 武田清隆, 佐々木政實, 大沢直樹, 高田篤志

長野雅治, 八尾康正, ○高田篤志, 大沢直樹

○高田篤志, 長野雅治, 楠山政一, 大沢直樹, 林 隆之, 吉田和正, 本屋裕之, 富上 毅, 原田好朋, 櫻井哲治, 神田俊介, 岡 繁美, 長山和宏

○澤村淳司, 大沢直樹, 菊澤遼平

武田清隆, 安原 弘, 矢島宏行, 佐々木政實, 佐々木高幸, ○大沢直樹

菅原勝也, 松岡一祥, 島田道男, 林 慎也, 藤原治次郎, ○宮本 武, 佐々木 高, 田中正隆, 植田彰裕, 石原慎一

藤原治郎, ○大澤直樹

○大沢直樹, 古城 昭, 長堀正幸, 大西俊武, 矢島宏行, 宮本 武

15:00 ~ 16:20 一般講演：振動解析

15:00 ~ 15:20 機関室周辺のタンク構造の呼吸モード振動に関する実験的研究 - その3 実験と強制振動解析との比較と固有振動数推定法に関する考察 -

15:20 ~ 15:40 MPA法による大型客船の振動解析手法に関する研究

○安澤幸隆, 佐野敦司

安澤幸隆, 柳 和久, ○小林康高

15:40 ~ 16:00	コンテナラッシング動的挙動の模型試験	○鈴木克幸, Levent Kirkayak, 末岡英利, 二岡佑介, 出雲太郎, 正林和倫, 安藤英幸
16:00 ~ 16:20	コンテナラッシング挙動の動的シミュレーション解析	○Levent Kirkayak, 鈴木克幸, 末岡英利, 正林和倫, 安藤英幸

【第6会場】

9:00 ~ 12:00	オーガナイズドセッション (OS5) : 海洋再生可能エネルギー オーガナイザー : 鈴木英之 海洋再生可能エネルギーの展望と課題 洋上風力発電研究の現状と課題 波力発電の動向について 海洋温度差発電の現状と新しい展開 —持続可能なエネルギー、水、水産資源の創出を目指して— 日本南岸海流発電ポテンシャルの推定 風力発電のためのVLMOSの航行性能 浮体式洋上風力発電の包括的環境影響評価に関する研究 人口ハーバー付OWC型波エネルギー吸収装置に関する研究 浮体型振子式波力発電装置の発電特性に関する実験的研究 潮流発電用弾性タービンの性能評価 大阪湾臨海域における海陸一体型バイオマス有効利用システムの総合評価	○鈴木英之 ○高木 健 ○永田修一 ○池上康之 ○小平 翼, 早稲田卓爾, 清松啓司, 宮澤泰正 ○平松拓郎, 興梠有人, 高木 健 ○村井基彦, 青野達彦 ○居駒知樹, 大澤弘敬, 増田光一, 富沢裕也 ○豊田和隆, 永田修一, 今井康貴, 小野圭介 ○南 佳成, 佐々木紀幸, 鶴澤 潔, 原 悠介, 村山英晶 ○大塚耕司, 山北雅史
15:00 ~ 16:20	オーガナイズドセッション (OS8) : 船・海洋の未来を支える技術開発・人材開発 —研究ストラテジー研究委員会報告書を考える— オーガナイザー : 藤久保昌彦 船舶における省エネ・環境負荷低減技術の研究開発戦略 解析シーズとIT・システム技術の統合による戦略的ソフト開発 海洋開発技術 船舶の安全・環境規制に関する国際基準戦略について サステナブルな造船を考えて行くには —人材開発の側面から—	○大内一之 ○濱田邦裕, 尊田雅弘 ○鈴木英之 今出秀則, ○大坪新一郎 ○篠田岳思, 濱田邦裕

【第7会場】

9:00 ~ 11:00	一般講演 : 海洋波・風・流れ	
9:00 ~ 9:20	大洋の長期波浪発現確率における波高と波周期の連関の測度に関する考察	新開明二, 山口 悟, ○川島大輝
9:20 ~ 9:40	異常波浪の予測にむけて	○早稲田卓爾, 田村 仁, 因 和久, 宮澤泰正, 木下 健
9:40 ~ 10:00	相模湾沖合観測データに基づく海上風の性質について —第2報—	○中條俊樹, 矢後清和
10:00 ~ 10:20	風波初期発達の数値シミュレーション	○広部智之, 川村隆文
10:20 ~ 10:40	水槽において制御なしに規則波を造波する方法について	○大縄将史, 上野道雄, 沢田博史, 田口晴邦
10:40 ~ 11:00	セーリング競技のための潮流シミュレーション	○清松啓司, 早稲田卓爾, 鶴沢 潔, 因 和久, 伊藤 翔, 西田智哉, 中村健次, 斎藤愛子

【第8会場】

9:00 ~ 12:00	オーガナイズドセッション (OS3) : 大水深掘削とライザー技術 オーガナイザー : 宇都正太郎 「ちきゅう」における実海域掘削データに基づく掘削作業の考察 ハンゴオフ時のライザー挙動に対する内部流体影響の定量的評価 内部流体を考慮したハンゴオフライザーの縦弾性振動	○井上朝哉, 尾崎雅彦, 和田一育, 宮崎英剛 ○難波康広, 宇都正太郎, 國分健太郎, 二村 正, 黒田貴子, 宮崎 剛, 奥村耕之, 尾崎雅彦 ○國分健太郎, 宇都正太郎, 難波康広, 二村 正, 黒田貴子, 宮崎 剛, 奥村耕之, 尾崎雅彦
--------------	--	---

振動するライザー及びパイプラインに対する内部流れが与える影響に関する研究

○山本マルシオ, 村井基彦, 前田克弥, 宇都正太郎

深海掘削用CFRP製ライザー管の疲労強度

○渡辺喜保, 鈴木英之

大水深ドリルパイプのVIVによる疲労被害度の簡易評価法

高橋一比古, ○宇都正太郎, 宮崎 剛, 尾崎雅彦

中立型遅延微分方程式を用いたドリルストリングの捻り振動のモデル化

○井上朝哉

深海水槽における潮流中ライザーVIV挙動に関する模型実験

○藤原 智, 二村 正, Rudi Walujo Prastianto, 宇都正太郎

部分せん断流による水中線状構造物のVIV応答

○Yoo-Chul Kim, 林 昌奎, 鈴木文博

大水深ライザーのVIV挙動予測と抑制のための研究

○野澤俊樹, 鈴木英之, 太田 真

”8”字型運動を行う剛体円柱まわりの流場解析

○千賀英敬, 鈴木博善, 宮川智行

LNG FPSO用深層水取水管の成立性の検討

○前田健策, 宇都正太郎, 二村 正, 藤原 智, 前田克弥, 大内一之

15:00 ~ 16:20 一般講演：船体応答

15:00 ~ 15:20 水中における片もち梁シリンダーのVIVと流体力の関係に関する研究

○津曲優樹, 増田光一, 居駒知樹, 前田久明, 林 昌奎

15:20 ~ 15:40 潮流・波浪中におけるライザー管模型のリエントリ制御実験

○梶原宏之, 乗富賢蔵, 小寺山亘, 中村昌彦, 門元之郎, 五十嵐和之, 五百木陵行

15:40 ~ 16:00 超大型コンテナ船のスプリングによる流力弾性応答に関する実験的研究 (第三報)

○三宅竜二, 松本俊之, 朱 庭耀, 宇佐美陽生, 土橋宏嗣

16:00 ~ 16:20 沈没船の沈降挙動

○遠藤久芳, 前田克弥, 矢口雄大